

2012年(平成24年)1月18日 水曜日

町内大会
瀬戸書き初め大会

古仁屋高生が指導

最優秀賞は平島さん

瀬戸内町中央公民館は14日、2011年度「子ども書き初め大会」を開いた。同町内各地の幼稚園児、中学生23人は、筆に気持ちを込め、一画ずついいねいに書き上げた。最優秀賞は平島真衣さん(古仁屋中1年)が選ばれた。

また、大会で書かれた参加者の作品は、2月19日開催予定の公民館講座合同閉講式で展示される。

書き初め大会結果は次の通り(敬称略)
▽最優秀賞 平島真衣(古仁屋中1年)▽優秀賞 碩樹(阿木名小1年)、坂本しのぶ(同小4年)▽優良賞 十倉由衣(古仁屋中1年)、田中由紀(同中3年)

10人が講師として参加し、文字の大きさバランスや、「はらい」、「はね」、「とめ」をきちんとするように指導。指導を受け以前より上手に書けた作品に、児童生徒らの顔もほころんだ。

茶園さんは「より上手に書けるようになったあなた達と、来年も一緒に書き初めができれば」と講話を述べた。

児童生徒たちは「はる」(小学1年)、「初春の空」(同5年)、「早春梅花」(中学1年)など、学年別の課題に取り組んだ。古仁屋高校書道部顧問の茶園景子さんや、同校書道部員



古仁屋高校生に指導してもらった児童生徒ら(提供写真)